

毎週日曜発行  
2025 6/22

こども新聞  
週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



今回は、私たちの暮らしを脅かす台風や、世界で被害をもたらすハリケーンやサイクロンについて、名前の由来などを紹介します。

台風とハリケーン、サイクロンは、どれも同じ自然現象ですが、発生する場所によって呼び方が変わります。北西太平洋や南シナ海で発生するのは「台風」、北大西洋や北東太平洋などで発生するのは「ハリケーン」



はやさアドバイザーの

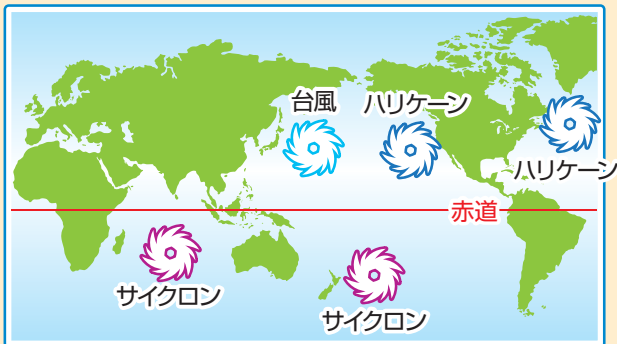
# 学ぼう防災

27

きょうのテーマ

## 知ってる? 台風の知識と備え

発生場所と呼び方の違い

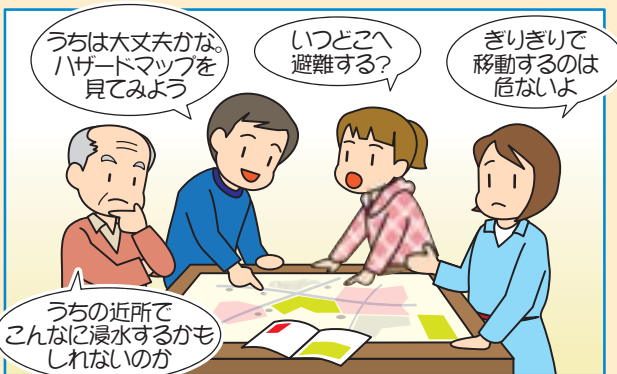


日本が提案した台風の名前

- コイヌ ヤギ ウサギ カジキ コト
- クジラ コグマ トケイ トカゲ ヤマネコ

★日本からは10個! ★星座の名前に由来するよ

事前に話し合っ備えよう



うちの近所でこんなに浸水するかもしれないの

うちは大丈夫かな。ハザードマップを見よう

いつどこへ避難する?

ぎりぎり移動するのは危ないよ

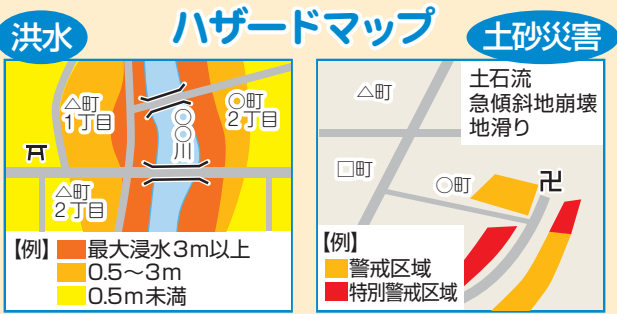


イラスト さとうあけみ

# 出水期高まる災害リスク

## 台風を知り被害に備える

その名前は、災害時の情報伝達を円滑にする役割を果たしています。

台風委員会の加盟国が提案して決めた台風の名前には、各国の文化や自然に関係する言葉が使われています。日本は「コグマ」「ヤギ」「ウサギ」など星座に由来するものが多く、タイは「プラピリン(雨の神)」、フィリピンは「アムヤオ(山の名前)」などの名前を採用しています。

甚大な被害をもたらした台風は、新しい名前に変更することもあります。2019年の台風28号「カンムリ」はフィリピンで大きな被害をもたらしたため、その後の台風では「カンムリ」を使わず、「コト」という名前にしました。

カスリーン台風(1947年)やアイオン台風(48年)は東北地方に甚大な被害をもたらし、その教訓は堤防の強化やダム整備だけでなく、住民の防災意識にも生かされています。

6、10月は雨が多くなる「出水期」と呼ばれる梅雨や台風の影響で洪水や土砂災害のリスクが高まります。洪水や土砂災害は、気象情報の意味を正しく理解し早めに避難するなど、自分の行動でリスクを減らすことができます。まずは、ハザードマップで災害リスクを理解することから始めましょう。

(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

## この日 何の日

◇23日(月) 沖縄慰霊の日

1945年のこの日、太平洋戦争の沖縄戦が終結したとされます。激しい地上戦は市民も巻き込み、20万人以上が犠牲になりました。今年80年の節目。沖縄県で追悼式が開かれ、平和の誓いを新たにします。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 Let's try 防災クッキング